

里地里山アンケート

<集計結果>

平成 27 年 11 月 環境共生課

1 目的

里地里山に対する市民の考え方を把握し、生物多様性の保全上重要な地域である里地里山の保全や利活用の検討の参考資料とするために実施した。

2 アンケート実施期間

平成 27 年 6 月から平成 27 年 9 月

3 アンケート対象

里地里山について、関心を持っていると考えられる市民※

※市内に居住する者、市内に通勤し、又は通学する者及び地域活動団体、市民活動団体、大学、企業その他の市内で活動するもの

4 アンケート配布方法

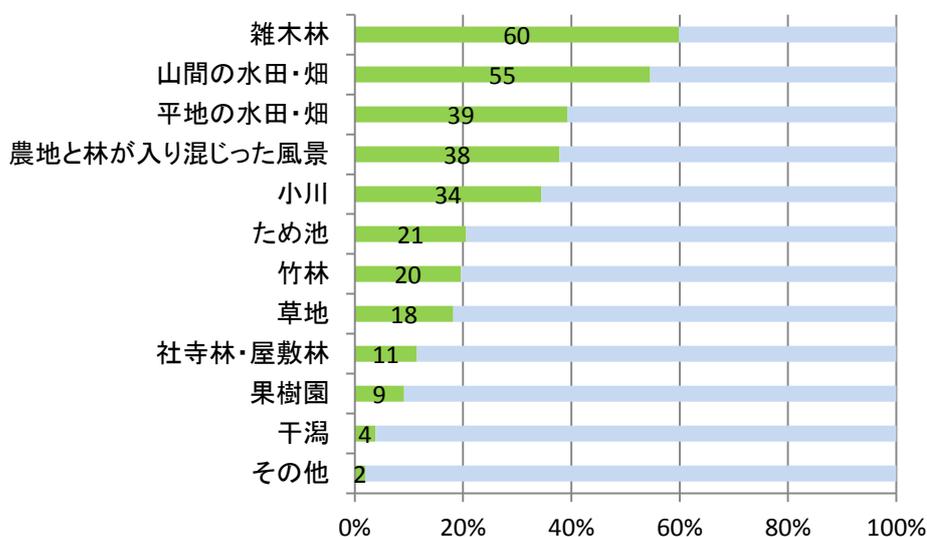
- (1) 自然に関わる活動を行っている団体への直接配布
- (2) 大学教授を經由して学生への配布
- (3) 里山体験イベント参加者への配布
- (4) 施設(青葉の森緑地及び太白山自然観察の森)への調査票設置

5 アンケート回答数及び内訳

所属等	人数
仙台市森林アドバイザーの会	9
みやぎ里山整備クラブ	11
権現森自然研究会	10
東北大学野鳥の会	15
(公益財団法人)仙台市公園緑地協会レンジャー	9
東北工業大学安全安心デザイン学科 1 年生	71
東北工業大学安全安心デザイン学科 2 年生	44
東北学院大学地域構想学科 学生等	21
未来プロジェクト「目指せ！里山の小達人」参加者(スタッフ含む)	13
青葉の森来館者	5
太白山自然観察の森来館者	4
その他	1
合計	213

6 集計結果

(1) 「里地里山」としてあなたがイメージするのは、どのような風景ですか？（複数回答可）



項目	人数
雑木林	125
山間の水田・畑	114
平地の水田・畑	82
農地と林が入り混じった風景	79
小川	72
ため池	43
竹林	41
草地	38
社寺林・屋敷林	24
果樹園	19
干潟	8
その他	4

【回答者数=209人】

その他内訳：山，農村，集落，ザリガニ等がいそうな水路

「雑木林」，「山間の水田・畑」の順で多く、ともに半数以上の人を選択されている。このことから、山あいの集落を里地里山として認識する人が多いことがうかがえる。ただし、小川やため池、竹林、草地なども20%近くの人に選択されており、これらも里地里山の構成要素として認識されていることがうかがえる。

屋敷林(居久根)は本市の歴史的・文化的景観であるが、里地里山のイメージとして選択した人は多くはなかった。



里地里山イメージ（泉区根白石）

平成27年10月9日撮影

(2) 仙台市内の里地里山として、思い浮かべる具体的な場所があれば、その地名を教えてください。

場所	人数
泉区 根白石	28
太白区 秋保	18
青葉区 芋沢(権現森, 黒森山含む)	12
太白区 茂庭(太白山含む)	11
泉区 泉ヶ岳周辺	9
青葉区 青葉山	5
青葉区 下愛子(蕃山)	5

その他	
青葉区	水の森, 作並, 台原森林公園, 上愛子, 愛子, 赤坂, 大倉
宮城野区	県民の森, 大堤公園, 与兵衛沼
若林区	仙台市東部の水田, 成田
太白区	八木山, 治山の森, 佐保山, ニツ沢, 面白山, 坪沼, 大年寺, 向山, 人来田
泉区	実沢, 福岡, 朴沢, 将監

【回答者数=94人】

※左表には5人以上が挙げた地名を記載。

右表にはその他記載のあった地名を全て(仙台市外の地名や場所が特定できない回答は除く)記載



森林と市街地が接する地域の地名が多く挙げられ、特に西部丘陵地・田園地域に複数の人が挙げた地名が集中した。また、県民の森・水の森公園・台原森林公園・大堤公園・与兵衛沼など、都市の中の大きな緑地・水辺環境も挙げられた。

(3) 里地里山の生きものとして、特に守りたいと思う生きものは何ですか？

<植物>

種類	人数
山菜 ^{注)} 内訳: 山菜 7・フキノトウ 5, ワラビ 2, ゼンマイ 3, タケノコ 5, キノコ 6	28
カタクリ	9
コナラ	6
ブナ	6
サクラ類	6
クヌギ	5

その他	
樹木	クリ, ヒノキ, スギ, スダジイ, トチノキ, シラカシ, クルミ, ウメ, マツ, ケヤキ, ヤブツバキ, カエデ類, ヤマツツジ, ヤマグミ, アケビ
草花	タンポポ, ヤマユリ, ラン科植物, ススキ, ヨモギ, スミレ, キキョウ, オミナエシ, スギナ(ツクシ), ミズバショウ, ヨウシュヤマゴボウ, ノビネチドリ, スズラン, モウセンゴケ, トキソウ, 竹, 菜の花, ねこじやらし, ヒマワリ, シバザクラ, ジュンサイ

【回答者数=108人】

※左表には5人以上が挙げた植物を記載。

右表にはその他記載のあった植物を全て(木, 花, 草, 山野草, 雑木林, 広葉樹, 森林など, 種が限定できない回答は除く)記載

注) 山菜を「山野に自生し食用に供される植物」とすればアケビ・ヤマグミ・ツクシ・ヨモギ・カタクリ・ウメ・トチノキなども山菜に含まれるが, 山菜として広く知られるものとしてフキノトウ, ワラビ, ゼンマイ, タケノコ, キノコのみ山菜として回答をまとめた。

<動物>

種類	人数
タヌキ	14
リス	12
メダカ	12
カモシカ	12
シカ	11
ツキノワグマ	11
ホタル	11
トンボ	8
イノシシ	7
カエル	7
ウサギ	7
ハクビシン	5
オオタカ	5

その他	
哺乳類	キツネ, サル, アナグマ, イタチ, テン
鳥類	サシバ, スズメ, フクロウ, ハクチョウ, シジュウカラ, サギ, ウグイス, アカショウビン, キジ, ツグミ, ツル, アオバズク
爬虫類	トカゲ
両生類	サンショウウオ
魚類	ドジョウ, イワナ, ウナギ, アユ, カジカ, ホトケドジョウ, タナゴ, ヤマメ
昆虫類	オオムラサキ, クワガタ, ヒメギフチョウ, カブトムシ, セミ, ゴマダラチョウ, コオロギ, ゲンゴロウ, タニシ, ザリガニ
底生生物など	

【回答者数=146人】

※左表には5人以上が挙げた動物を記載。

右表にはその他記載のあった動物を全て(鳥, 虫, 小動物, 水生昆虫, 全ての生きものなど, 種が限定できない回答は除く)記載

<植物>

里地里山の守りたい植物として、フキノトウやタケノコ、キノコなどの山菜を挙げた人が多かった。また、山菜として計上しなかったものでも、アケビやヤマグミ、ツクシ、ヨモギなど食用になる植物が挙げられた。

山菜の他には、コナラやブナ、クヌギなど落葉広葉樹やその林床に咲くカタクリやスミレ、また秋の七草のススキやキキョウ、オミナエシが挙げられた。

<動物>

上位8種のうち、哺乳類が5種(タヌキ、リス、カモシカ、シカ、ツキノワグマ)と多かった。哺乳類以外では、メダカ、ホタル、トンボ類といった、以前は身近で多く見られたような生きものが多かった。また、カエルやドジョウ、ゲンゴロウ、ザリガニ等の田んぼの周りに生息する生きもの名も多く挙げられた。

シカのように、食害による森林荒廃等の問題となっているものもいることから、そのような側面も情報として発信していく必要があると考えられる。

(4) 里地里山の生きもので、最近見なくなった、あるいは、少なくなったと思うものはありますか？

<植物>

種類	人数
山菜 ^{注1)} 内訳:山菜 1・フキノトウ 7, タラの芽 2, ワラビ 1, タラノメ 2, キノコ 3	16
タンポポ	10
シュンラン	3
カタクリ	3
イチゴ類(ノイチゴ, キイチゴ, ヘビイチゴ)	3

その他	
樹木	クワ, クヌギ, コナラ, ナナカマド, サクラ, 果樹園のクリ, カキ
草花	ヨモギ, ジュンサイ, 湿性植物, アサガオ, レンゲ, ヤマユリ, ヤマブドウ, ヒメシャガ, ヒツジグサ, スミレ, ススキ, ナデシコ, ワレモコウ, トモエソウ, スカンポ, ササ, コスモス, クリンソウ, カンゾウ, オミナエシ, オオウバユリ

【回答者数=70人】

※左表には3人以上が挙げた植物を記載。

右表にはその他記載のあった植物を全て(木, 花, 草, 山野草, 雑木林, 広葉樹, 森林など, 種が限定できない回答は除く)記載

注)山菜を「山野に自生し食用に供される植物」とすればヨモギ・クワ・ヤマブドウ・イチゴなども山菜に含まれるが, 広く一般に知られるものとしてフキノトウ, タラの芽, ワラビ, タケノコ, キノコのみ山菜として回答をまとめた。

<動物>

種類	人数
ホタル	17
トンボ類	16
タヌキ	13
リス	12
キツネ	10
イノシシ	9
メダカ	8
ウサギ	7
カエル(オタマジャクシ)	6
カモシカ	5
ヘビ	5

その他	
哺乳類	イタチ, ツキノワグマ, コウモリ, アナグマ, ムササビ, モグラ
鳥類	スズメ, フクロウ, キジ, アオバズク, ツバメ, トビ, ハクチョウ, キジバト, カワセミ
爬虫類	トカゲ
両生類	サンショウウオ
魚類	タナゴ, ドジョウ
昆虫類 底生生物など	オオムラサキ, ゴマダラチョウ, ヒメギフチョウ, カブトムシ, クワガタ, アメンボ, ゲンゴロウ, セミ, タニシ, オケラ, タイコウチ, タガメ, バッタ, ザリガニ, ミミズ

【回答者数=125人】

※左表には5人以上が挙げた動物を記載。

右表にはその他記載のあった動物を全て(鳥, 虫, 小動物, 水生昆虫, 全ての生きものなど, 種が限定できない回答は除く)記載

植物・動物ともに、設問(3)「里地里山で守りたい生きもの」の回答と重複する種が多い。

タンポポは、在来のタンポポ(エゾタンポポ, カントウタンポポ等)に限定して挙げた回答もあった。ヤマユリ・オオウバユリについては、イノシシによる球根食害により減少しているという情報も寄せられた。動物ではホタル, トンボ類が1位, 2位となった。

なお、本アンケートとは別途実施している「平成27年度生きもの認識度調査(仙台市内の中学生1年1組の生徒及びその家族を対象, 計3527名)」において「見られなくなったと思う動物や植物」を聞いているが, そこでも本アンケートで上位に挙げたタンポポ, トンボ, ホタルの名前が挙げられている。

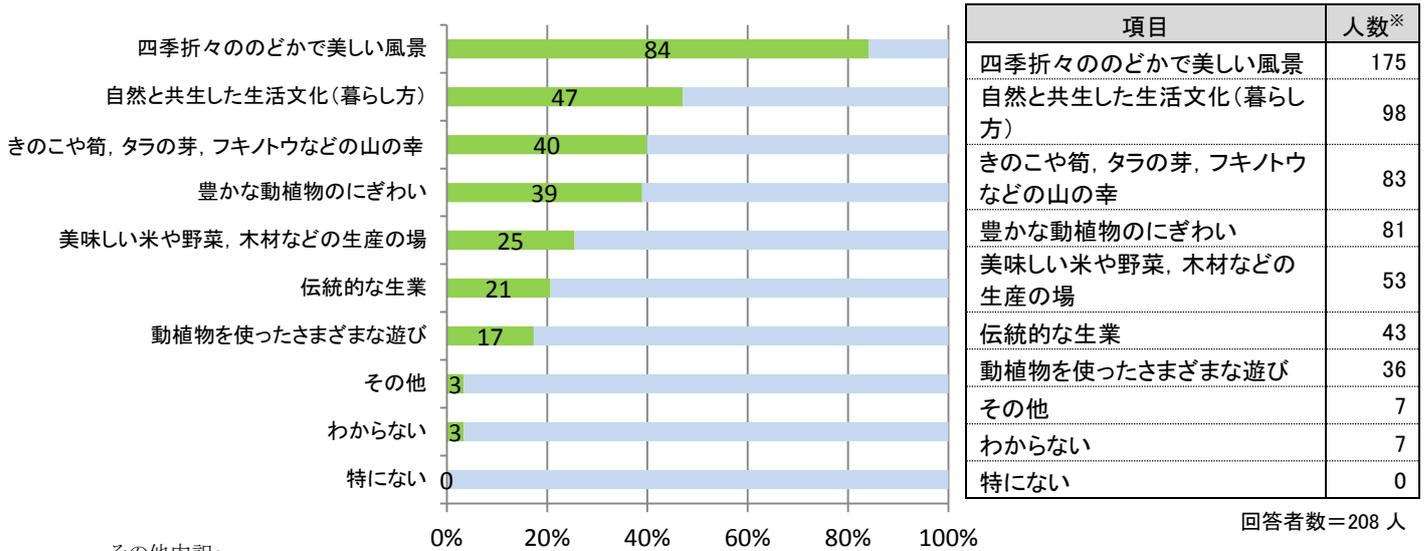
【参考(平成27年度生きもの認識度調査・速報結果)】※報告書は平成28年3月頃公表予定

仙台で最近見られなくなったと思う動物や植物

<植物>①タンポポ(30人), ②ツクシ(12人), ③ネジバナ(8人)

<動物>①トンボ(150人), ②カエル(135人), ③ホタル(122人)

(5) あなたが人に伝えたい里地里山の魅力は何ですか？（複数回答可）

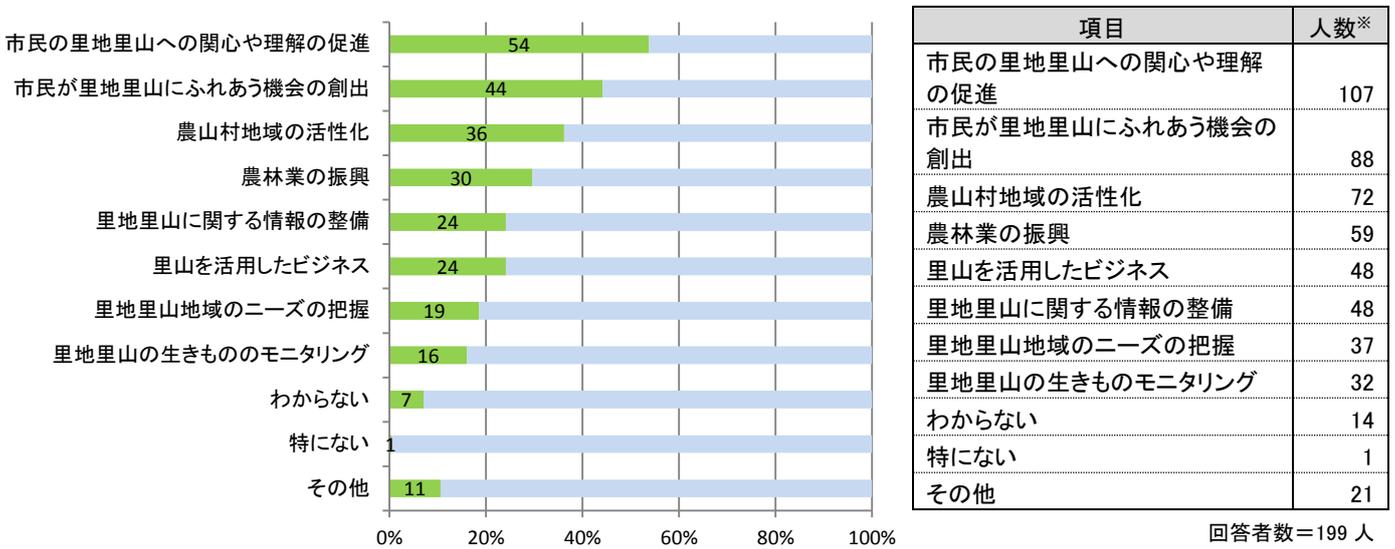


その他内訳:

ほのぼのとした日常, 生きものつながり, 八百万の神など信仰や伝承されている話など, 生命の営み, 自然に人間の力が入り込むことで持続的で豊かな生活を営んでいる点, 身近にある里山での四季を感じる動・植物, 整備された森林の空気を吸って季節の変化をみること。

選択した人が最も多かったのは「四季折々ののどかで美しい風景」で, 約8割の人が選択した。次いで「自然と共生した生活文化(暮らし方)」が多く, 約5割の人が選択した。年間を通して里地里山に親しめるような仕組み等があると, 里地里山の魅力を多くの人に広められる可能性がある。

(6) 仙台の里地里山の保全・利活用を推進するために, いま必要なものは何だと思いますか？（複数回答可）



その他内訳は次表のとおり。

その他内訳（意見が複数記載されたものがあるので、回答者 21 人に対し 26 件の回答がある。）

カテゴリ ^{注)}	件数	内容(一部抜粋)
子どもを対象としたもの	4	学校行事で活用／保育園等と連携／親子で里山体験ができる場の創出
除間伐材等の活用	4	木を活かした遊具等をつくる／炭焼きや薪ストーブの利用促進／木を使った工作
体験イベント開催	4	テレビの DASH 村のような体験活動／イベントを開催する／放射能を気にせずイベント開催ができるようにする(県レベルでの安全確認の実施)
ハードの整備	3	マウンテンバイクコース／トレッキングコース／公共交通機関の整備
メディアを通じた啓発	2	HPを作成／おもひでぼろぼろを上映
人材育成	2	とよた森林学校のような取組み／後継者に魅力を伝える
里地里山移住促進	2	里地里山に住み生活する／里地里山を活用する人間社会のあり方・暮らし方
動植物の情報提供	2	里地里山の動植物調査をして市民に公開／専門家によるガイドウォーク
里地里山の産業育成	1	山に関する仕事の育成
鳥獣対策	1	イノシシ、サル害対策
開発抑制	1	むやみな樹林伐採など環境破壊をやめる

注) カテゴリ分類は集計時に実施

「市民の里地里山への関心や理解の促進」や「市民が里地里山にふれあう機会の創出」を選んだ人が多く、里地里山に普段ふれあうことがない市民に対する啓発に関わることが重要視されている。その他の意見では、体験イベントの開催や子どもを対象とした取組み等が多く挙げられた。

(7) 里地里山の保全・利活用のため、あなたが具体的に取組んでいることがあったら教えて下さい。

ない場合は、取組んでみたいことを教えてください。

<取組んでいること>

カテゴリ ^{注)}	件数	内容(一部抜粋)
親しむ	6	昆虫採集等をして遊ぶ／自然体験イベントに参加する／自然系サークルに入る
手入れする	28	ゴミ拾い／下草刈り／除間伐／植樹
広める	5	自然観察会の開催／授業を通じて子どもの自然への関心を高める／農業体験イベント開催
調査・研究する	6	生きもののモニタリング／大学で環境について学ぶ
使う	3	竹チップを作る／地元食材の購入／生業として炭焼きを行う

【回答者数=47人】

意見が複数記載されたものがあるので、回答者 47 人に対し 48 件の回答がある。

注) カテゴリ分類は集計時に実施

<取組んでみたいこと>

カテゴリ ^{注)}	件数	内容(一部抜粋)
親しみたい(体験したい)	26	農家に泊まって農業体験／山菜とり／伝統的な祭りの手伝い／写真撮影／ツリークライミング／きれいな景色をみてみたい／自然のものを使った工作／動植物の観察
手入れしたい	24	清掃活動／植樹／ボランティア／水質改善／森林保全活動
広めたい	15	遊具を設置する／子ども達に魅力を伝える／山菜などを採りにいって山の恵みを知ってもらいたい／若者向けにイベントをつくる／里地里山地域活性化の企画
使いたい	4	休耕地の有効活用／山に放置された針葉樹林の活用／資源を活用したビジネス／山に関連した仕事
調査・研究したい	1	里地里山の生態のモニタリング
知りたい	4	里地里山について知識を増やしたい／里地里山に住む人の里山利用に関する意見を聞きたい

意見が複数記載されたものがあるので、回答者 72 人に対し 74 件の回答がある。

【回答者数=72人】

注) カテゴリ分類は集計時に実施

自由意見として記載された内容を、カテゴリごとに分けて集計した。

取組んでいることについては、48 件の記載があった。実際に里地里山で活動している方に多くアンケートを配布し実施していることもあり、森林の下草刈りなど、「手入れする」が最も多かった。

一方、取組みたいことについては、74 件の記載があり実際の行動までは至っていないが、何らかしらの形で里地里山の保全・利活用に関わりたいと考えている人が多い。内容としては、農業体験など、現地での体験を希望するもの（「親してみたい(体験したい)」）が多かった。また、里地里山について色んな人に知ってもらいたい（「広めたい」という意見の中では、特に、子どもや若者に向けて発信したいという意見が多かった。

(8) 仙台の里地里山について、あなたの考えを自由に書いてください。

カテゴリ ^{注)}	件数	内容(一部抜粋)
現状に関する意見	20	少なくなってきた／仙台は街のイメージで里山のイメージがない／若年層が出て行ってしまい畑仕事が大変／カエルが近所でみられなくなった／泉区は宅地開発が進んでいるので不安／鳥獣被害で農業意欲が低下／子連れで散歩できる里山・林がない／交通の便が悪い／国有林の荒廃が目立つ／仙台の里地里山ときいて思い浮かべる場所がないので、それだけ知られていないのだと思う
保全に関する意見	11	残っている里地里山を減らさないようにしてほしい／里地里山のそれぞれの「よさ」を抽出して残して欲しい／日本の美しい風景である里地里山を残して欲しい／仙台だけでなく東北全体の自然を守るべき／新鮮な空気をうんでくれるので自然は大切にしなければならない／きれいな川があったら良いと思う
啓発に関する提案	7	若い世代に興味を持ってもらう必要がある／興味を持ってもらうためには、行く機会を増やすことが重要／幼児保育を活用／生態系や生物多様性の理解が必要／アスレチック等を設置／子どもの頃から里地里山にふれる機会を増やすことが重要。特に仙台駅など人通りの多いところで情報発信／里地里山地域の魅力を他地域と差別化した上で発信する力が必要
利用に関する提案	8	ただ守るのではなく里山に関連したビジネスを創出し地域の経済基盤を築くことが大切／炭焼きの推進又は未利用ナラ類を薬用樹種(キハダ、トチュウ、コシアブラ etc)に変える／間伐材の利用をもっと多様に／遊びとしての間伐を提案／広範囲で長期的に里山を維持するためには経済活動に組み込む必要がある／各地域の「～緑地」を地域の人で活用できるようにする
その他の提案	1	地域の方々との交流が大事だと思う。
イメージ	18	自然があふれている／のどか／空気が澄んでいる場所／農村・畦道・水田／車がないと行けないイメージ／のどかだけど住みにくそう
よく知らない	11	仙台の里地里山をよく知らない／具体的に里地里山がある場所を知りたい
経験・思い出	8	クワガタ採りにいった／祖父の家でカモシカに会った／生きもの探しにいった／子どもの頃に魚採りをした
抱負	5	里地里山を見に行きたい／子どもが里山に触れ合える機会を沢山作りたい／今後とも親しめる里山作りを心掛けて活動したい／自然に興味を持つ人が増えるようガイドを続けていきたい
その他	2	魅力がなければ便利で安易に暮らせる方に行ってしまうと思う／大学で里山について学ぶ中で、里山の景観はそこに住む人々が長い時間をかけて少しずつ地形や気候を利用してつくってきたものであることを知った

意見が複数記載されたものがあるので、回答者 88 人に対し 91 件の回答がある。

【回答者数=88 人】

注) カテゴリ分類は集計時に実施

自由意見として記載された内容を、カテゴリごとに分けて集計した。

現状に関する意見が多く、その中でも、市内で里地里山などのふれあえる自然が減っているという意見が多かった。また里地里山から連想するイメージでは、「のどか」「自然が豊か」などプラスのイメージを挙げた人が多かったが、「交通の便が悪い」「住みにくい」などマイナスのイメージも挙げた。

里地里山を保全したいという意見は多く、保全のための具体的な活用アイデアや必要な対策も多数挙げられた。